

『多元文化』第6号投稿規程

1. 内容：国際言語文化に関する未発表の研究論文。単著論文に限る。すでに口頭で発表し、その旨明記してあるものは審査対象となる。
2. 投稿資格者：(1) 国際言語文化研究科教員、(2) 国際言語文化研究科国際多元文化専攻大学院生、(3) 同修了生。
3. 言語：日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮韓国語のいずれかとする。これ以外の言語での投稿を希望する場合は、編集委員に相談すること。
4. 枚数：日本語、中国語、朝鮮・韓国語の場合はA4版用紙を用い、12,000字（400x30）程度とする（注、文献を含む）。英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語の場合は、A4版用紙にスペースを含めて6,000語程度とする（注、文献を含む）。横書き。
5. 体裁：注は本文の終わりにまとめること。（自動脚注及び文末脚注機能を使わないこと。）
6. 提出部数：論文は4部（コピー可）を提出すること。採用の場合は、フロッピー・ディスクも提出すること。原稿及びフロッピーは返却しない。
7. 提出時に「文字数」と「フォント名」を書き添えたメモを提出すること。
8. 提出先：編集委員（長畑、丸尾、上原、今井田）
9. 締切：9月末日。
10. 注意事項
 - (1) 論文が採用された場合、必ずフロッピー・ディスクを提出すること。ディスクにはラベルを貼り、名前と論文のタイトルを明記すること。
 - (2) ファイルは必ずMSWordで作成すること。
 - (3) 和文論文では、コンマ（，）ではなく、読点（、）を使用すること。また、和文論文中的数字と英字はすべて半角を用いること。
 - (4) 論文中で中国語を使用する場合、文字コードは国家規格または国際規格に則したものを使用し、特定のアプリケーションに依存する独自コードを使用しないこと。例えば、「GB 中国明朝」や「OM 中国 GB 明朝」等のフォントは、それぞれ、Chinese Writer、cWnn（「楽々中国語」に含まれる入力ソフト）という特定のアプリケーションの

独自コードに対応したフォントなので使用しないこと。「SimSun」

「GBMincho」「MingLiu」「Arial Unicode MS」等は使用できる。

- (5) 論文が採用された場合、論文の版下作成は原則として執筆者が行う。
- (6) 版下作成の際、内容の修正は認められない。
- (7) 採用された論文は、印刷版とは別にオンライン化する。